

2025年度 乳がん・子宮頸がん検診費用補助のご案内

～ 2年に1回は、乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう ～

◎ **補助対象の検診**：健診センター・医療機関で行われている下記の検診

乳がん検診：マンモグラフィー or 超音波検査と触診

子宮頸がん検査：細胞診

セット：乳がん+子宮頸がん

※保険診療にて受けた検査は、補助対象外です。

◎ **補助対象者**

女性被保険者（事業所健診未実施）

レディース健診を受けることができない女性被扶養者（31歳以上）

◎ **頻度／補助額**

乳がん検診：1年に1回受診可 / 3,500円まで

子宮頸がん検査：1年に1回受診可 / 3,000円まで

セット：1年に1回受診可 / 6,500円まで

◎ **検診実施期間**：2025年4月1日より2026年2月未まで◎ **利用の手順**

＜契約健診機関で受診する場合＞

- ①受診者から健診機関(別紙参照)へ、**直接電話にて予約**。
- ②予約後に健保へ「**補助金請求書**」※1を提出し「**受診券**」を受け取る。**(必ず受診前に)**
- ③受診時に、受付で「**受診券**」を提出する。(資格情報のお知らせ提示)

＜契約機関以外で受診する場合＞

- ①検診内容等が補助の条件に該当するかを確認。(不明の場合は、健保へ確認してください)
- ②立替払いにて検診を受診し、領収書を保管。
- ③受診後に健保へ「**補助金請求書**」※1に領収書原本を添付して提出する。

※振込先口座確認のため、**本人名義の通帳またはキャッシュカードのコピーも添付**。
(給与指定口座の場合は不要)※1「**補助金請求書**」は、画面下の申請書は[こちら] ボタンをクリックして、
申請届出書類のダウンロード→[書類の印刷] から、印刷して下さい。※契約検診機関では、検査費用が一般よりも割安で受けられます。
また、自己負担分のみでの支払になるので、検診時の支払額が少なくてすみます。
検査費用等、詳しくは、別紙[契約検診機関情報]をご覧ください。

※事業所健診に組み込まれている、又は事業所指定の検診がある場合は、事業所担当者にお問い合わせ下さい。

◎ **注意事項**

※契約外で受診される場合で、人間ドック等の脳ドック以外の検査コースのオプションとして受診する場合は、オプション料金を補助対象の上限金額とします。

乳がん検診、子宮頸がん検診については、諸外国と比べて検診受診率が非常に低い状況にあり、特に**40代以上の乳がん、20代～40代の子宮頸がんの罹患率が大幅に増加**しています。どちらの疾病も初期には自覚症状がほとんどなく、早期には気づきにくいのが特徴のため、定期的な検診が重要になってきます。また、この2つのがんは、がんの中でも早期発見により治癒率が上がることが確認されていますので、**2年に1回は受診**することを推奨します。

まず、乳がん・子宮頸がんに関心を持ってどんな病気か知って下さい。
そしてリスクがある・高いと思われる方は特に意識して受診するようにして下さい。
乳がんについては、大腸がんと共に遺伝的要因の認められているがんですので、近親者に乳がんの罹患者がいる場合には、特に注意が必要です。
子宮頸がんについては、ヒトパピローマウィルスの感染が関与していると言われておりますので、リスクについて情報サイトで確認して下さい。

乳がんについての情報サイト・・・ <https://www.nyugan.jp/>子宮頸がんについての情報サイト・・・ <https://www.shikyukeigan-yobo.jp/>